



2023年11月10日

各 位

会社名 株式会社オリジン
代表者名 代表取締役社長 CEO 稲葉 英樹
(コード：6513 東証スタンダード市場)
問合せ先 上席執行役員 CFO
経理部長 赤松 敦
(TEL 048-755-9242)

業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2023年11月10日開催の取締役会において、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想の修正、2023年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1) 修正の内容

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,500	百万円 300	百万円 550	百万円 100	円 銭 16.92
今回修正予想 (B)	29,000	△ 700	△ 150	△ 850	△ 146.33
増減額 (B-A)	△ 3,500	△ 1,000	△ 700	△ 950	—
増減率 (%)	△ 10.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	32,036	574	1,461	365	60.71

(2) 修正の理由

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、メカトロニクス事業においてギ酸還元真空リフロー炉 (VSM) の新製品としてMPXシリーズを投入しましたが、市場の立ち上がりが想定より遅く、また、光学レンズ貼合装置 (OLB:Optical Lens Bonder) も需要が減少したことにより、売上高が低調に推移し、通期の売上高は前回発表予想を大幅に下回る見込みであります。

損益面につきましては、資源・エネルギー価格や原材料価格の高騰等による全社的な製造コストの増加に加え、一部製品の品質向上に要するコストの増加、中国子会社での売上高の減少に伴う利益率の低下、メカトロニクス事業における技術開発拠点の整備に伴う研究開発費の増加、売上高の減少に伴う固定費回収不足等の影響により、営業利益も前回発表予想を大幅に下回る見込みとなりました。為替レートが想定より円安で推移している影響から、為替差益の発生を見込んでおりますが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前回発表予想を下回る見込みとなるため、2024年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日公表)	前期実績 (2023年3月期 第2四半期)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	15円00銭	20円00銭	20円00銭
配当金総額	87百万円	—	120百万円
効力発生日	2023年12月4日	—	2022年12月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2023年5月12日公表)	20円00銭	20円00銭	40円00銭
今回修正予想	—	15円00銭	30円00銭
当期実績	15円00銭	—	—
前期実績 (2023年3月期)	20円00銭	20円00銭	40円00銭

(3) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な課題として考えており、内部留保金とともに1株当たり利益の配分原資の安定成長に努め、業績に見合った安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

今回の業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、前回予想より10円減配し、中間配当15円、期末配当15円の1株当たり30円とさせていただきます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上